

## 株主メモ

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金／毎年2月20日 中間配当金／毎年8月20日
公告方法	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 電子公告により行ないます。 <a href="http://www.palemo.co.jp/">http://www.palemo.co.jp/</a> ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

但し、旧株式会社鈴丹の株主様が特別口座に関するご照会をされる場合は、  
下記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 0120-232-711 (通話料無料)

株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 ☎ 0120-782-031

## 株主優待

株主の皆様方のご支援に対する感謝の印といたしまして、毎年2月20日現在の株主名簿に記載された300株以上保有の株主の皆様方に対し、下記のとおり株主様ご優待品を進呈いたしております。



300株以上	1,000株未満	1,000円のクオカード
1,000株以上		3,000円相当のカタログギフト

## 上場株式等の配当等に係る10% (所得税7%、住民税3%) 軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率  
(所得税7%、住民税3%)は廃止され、本来の税率である20%  
(所得税15%、住民税5%)となりました。  
これにより、2014年1月1日から2037年12月31日までは「復興  
特別所得税」を含め20.315%の源泉徴収税率が適用されます。

## 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手  
続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先まで  
ご連絡ください。

## 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用され  
ていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友  
信託銀行株式会社(旧株式会社鈴丹の株主様は三菱UFJ信託銀行  
株式会社)に口座(特別口座といえます。)を開設しております。

## 愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録



登録年月日 平成20年2月15日  
登録番号 C0024

仕事と生活の調和のとれた働き方ができる職場環境づくりに取り組む  
愛知県ファミリー・フレンドリー企業として登録いたしました。

# PALEMO CO., LTD.

第30期 第2四半期報告書  
[2014.2.21.~2014.8.20.]

## ~ Doing it ~

皆様の豊かさ・成長・満足の実現のために



株式会社 ぱれも

証券コード:2778

## 専門化・顧客化への変革の取り組みを加速させてまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第30期第2四半期報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

この第30期第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策等により、緩やかな回復傾向が続いている一方で、消費税増税後における平成26年4～6月期のGDP成長率が年率換算でマイナス7.1%となるなど、早期の持ち直し期待がある中、個人消費の落ち込みが顕在化した市場環境でありました。

当社が属する専門店業界は、外資系企業を中心としたファストファッションやライフスタイル提案型ショップの拡大などにより顧客の争奪が激化するなど、競合環境が変化してまいりました。

このような環境の中、当社は経営体質の改善ならびに業績の回復向上に向け、「事業基盤の再構築」「基幹事業の収益回復」「不採算店舗閉店による赤字額削減ならびに営業費の削減」などの主要施策に取り組んでまいりました。そして、収益基盤の明確化と集中化を進める中で、MD（マーチャндаイジング）の変革をテーマとした品揃えおよびMD手法の変更を実行し、また、店舗サービス力向上、ならびにメンバーズ会員等の顧客化推進についても取り組みを強化してまいりました。しかしながら、事業

基盤の再構築や店舗基盤の整備とともに、営業費の削減など体質改善は進んだものの、消費動向が不安定な中、夏季の天候不順等も影響いたしまして、既存店売上高は減収となり、その結果、当第2四半期累計期間におきましては、「営業損失」となりましたことを謹んでご報告申し上げます。

下半期におきましては、上半期の結果を全て内部課題として捉えまして、「主力事業の収益回復に向けたMD変革」を中心に取り組むことにより、収益回復を果たすと同時に、成長基盤の育成にも努めてまいります。

そして、役員をはじめ社員一同、業績の回復向上に向け、専心努力する所存でございます。また、企業の社会的使命を重視し、企業統治の充実、内部統制ならびにコンプライアンス体制の強化など、企業の質的向上にも努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご高配を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

代表取締役会長

藤田 敏

代表取締役社長

小田保則

指針

正しい経営

安定成長

ローコスト経営

人財経営



**Q1** 当第2四半期累計期間の業績についてお聞かせ下さい。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高167億52百万円（前年同期比87.1%）、営業損失2億24百万円（前年同四半期は営業利益3億53百万円）、経常損失1億92百万円（前年同四半期は経常利益3億73百万円）、四半期純損失4億22百万円（前年同四半期は四半期純利益84百万円）となりました。

売上高の減収は、消費税率引き上げ後の郊外市況の低迷に加え、天候不順から夏のシーズン主力商品が低調に終わるなど、当第2四半期累計期間の既存店売上高前年同期比が88.5%に終わったことが主な要因であります。

また、利益面におきましては、円安に伴う原価高騰に加え、アパレル事業においては消費税増税後も税込価格を据え置いたことから、売上総利益率が前年同期比で△0.9%となったことが影響いたしました。

次に、店舗基盤の整備については、不採算店舗中心に上半期に40店舗を閉店いたしました。また、全社的なローコストプロジェクトの取り組み強化により、営業費体質の改善は計画以上に進捗いたしました。

出店に関しましては、将来の成長基盤として育成している「木糸土」「Hare no hi」を30店舗体制まで拡大を果たしました。両ブランドおよびバッグの「INCENSE」の既存店売上高は前年伸長を果たしております。

**Q2** 今後の方針ならびに下半期の施策についてお聞かせ下さい。

下半期におきましては、営業利益の黒字化と全社の増収増益基盤の再構築を目指し、アパレル主力事業の収益回復向上に注力してまいります。全体の施策といたしましては、「主力事業の収益回復に向けたMD変革」「顧客化および店舗サービス力の更なる強化」「不採算店舗閉店による赤字額削減および営業費低減の継続強化」「ライフスタイル提案型の成長基盤育成」です。

市場環境は、消費税増税後を経て、特にヤングマーケットは変化しています。そこで、これまで以上にMD変革を中心に取り組み、スピーディーに実行してまいります。そして、ターゲットをヤング中心からヤングおよび大人のショップへ転換すると同時に、競合とのファッションの差別化を明確化し、顧客化できるショップへの転換を図ってまいります。

上半期においては、店舗基盤の整備とローコストへの取り組みにより、経営基盤の体質改善は進めることができました。下半期においては、これを背景に、MD変革によるトップラインの回復向上を達成させて成果につなげてまいりたいと考えております。

そして、「木糸土」「Hare no hi」「illusie300」といった今後の成長ブランドの育成にも注力しながら、「永続的安定成長」に向けた基盤の再構築を目指してまいります。

ギャルフィット事業部



GAL FIT

「フェミニン&キュート」をコンセプトに、今年らしいベーシックアイテムと最旬トレンドファッションをバランス良くMIXした等身大のスタイリングを提案します。

「GAL FIT」は、上半期に2店舗を出店し、移設または改装を5店舗実施するなど既存店の店舗基盤の整備および活性化に注力いたしました。

リシェリエ



Recherie

フェミニンな大人のカジュアルスタイルを、今年らしいベーシックアイテムで提案します。

「RecHerie」は、都心およびモール立地中心に展開。アパレルの主力ブランドとしての育成を目指しており、上半期は1店舗ブランド転換し、当第2四半期末店舗数は28店舗となりました。

ドスチ



DOSCH

流行に敏感でキュートな女性へ、最旬トレンドファッションを提案します。

「DOSCH」は、都心およびモール立地に向けてブランド化を推し進めており、上半期は1店舗ブランド転換、移設または改装を4店舗実施するなどし、当第2四半期末店舗数は34店舗となりました。

リジェイ事業部



Re-J

ヤングレディースのラージサイズブランド。トレンドとベーシックをバランス良く取り揃え、いつも新しいファッションを着まわしのきくコーディネートで提案します。

「Re-J」は、上半期に2店舗を出店し、4店舗をブランド転換するなどし、当第2四半期末店舗数は67店舗となりました。雑誌販促およびパレモ会員の獲得強化により、顧客化をより一層進めてまいります。

スズタン事業部



SUZUTAN

「エレガンス&フェミニン」をコンセプトに、最新のファッションと着まわしのきくベーシックアイテムをスタイリングで提案します。

「suzutan」は、上半期に1店舗を出店し、小規模なものも含めて改装を12店舗実施するなど、既存店の店舗基盤の整備および活性化に注力いたしました。

リメディオディビジョン



Li Meduo

「Comfortable」を基本コンセプトとして、トレンドだけでなく質感やシルエットにこだわった、着てみて更に満足できる上質な大人服をトータルで提案します。

「Li Meduo」は、好調な大人マーケットを狙い、これまでのキャリア服中心のMDから、上質、着心地にこだわった真の大人服を提案するMDへの転換を進めています。

シーベレット事業部



Siebelet

毎日楽しくさせる、トータル提案型雑貨SHOPです。親子でワクワク楽しく過ごせる空間を提案します。

「Siebelet」は、上半期に1店舗を出店し、移設または改装を2店舗実施しました。また、親子で楽しめるバラエティ雑貨ショップとしての独自性を強化してまいりました。

インセンスディビジョン



INCENSE

「MY BAGを探し楽しさや、見つけた時の喜びを共有できるBAG SHOP」自分のスタイルを確立した大人の男女に、「オンリーワン」のバッグを提案します。

「INCENSE」は、常に新しい提案を続ける商品開発力と、店舗での接客力を背景に、既存店売上高も順調に伸ばしました。商品単価も継続して上昇しており、高品質でオリジナル性のある品揃えを更に目指してまいります。

アパレル事業ブランド別の状況

	D:ディビジョン (単位:店舗)			
	出店	退店	ブランド転換	当第2四半期末店舗数
ギャルフィット事業部	2	17	1	257
リシェリエ	0	0	1	28
ドスチ	0	2	1	34
ギャルフィット他	2	15	△1	195
スズタン事業部	1	14	△4	159
リジェイ事業部	2	4	4	67
リメディオD	0	0	△1	21
アパレル事業合計	5	35	0	504

イルーシー300ディビジョン



illusie300

家で過ごす時間を大切にしたい女性に、「RELAX and HAPPY☆」をテーマに300円でライフスタイルを提案します。

「illusie300」は、上半期に1店舗ブランド転換し当第2四半期末店舗数は43店舗になりました。今後は、300円のプライス価値からライフスタイル提案型MDを強化し、将来の成長基盤を目指してまいります。

木糸土・ハレノヒディビジョン



木糸土

木・糸・土の素材を活かし、「無理なく無駄なく」をコンセプトに、シンプルで飽きのこない生活雑貨を提案します。

Hare no hi

モノが溢れる現代で、ひとつひとつの身の回り品に、シンプルで手作りの温もりを求める大人の女性に、雑貨とアパレルでライフスタイルを提案します。

「木糸土」「Hare no hi」は上半期で5店舗の出店および2店舗のブランド転換などにより、当第2四半期末店舗数は30店舗まで拡大しました。今後もライフスタイル提案を強化し、将来の成長基盤を目指してまいります。

雑貨事業ブランド別の状況

	D:ディビジョン (単位:店舗)			
	出店	退店	ブランド転換	当第2四半期末店舗数
シーベレット事業部	1	2	△1	105
イルーシー300D	0	0	1	43
インセンスD	0	1	0	30
木糸土・ハレノヒD	5	1	2	30
雑貨事業合計	6	4	2	208
複合店	0	1	△2	39

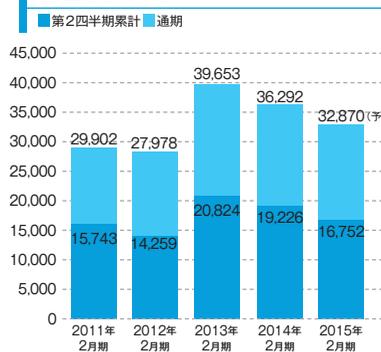
四半期貸借対照表 (単位:百万円)

	当第2四半期 会計期間末 (平成26年8月20日現在)	前第2四半期 会計期間末 (平成25年8月20日現在)	前事業年度 (平成26年2月20日現在)
<b>■資産の部</b>			
① 流動資産	6,255	6,773	5,645
固定資産	8,906	11,059	9,533
有形固定資産	1,547	1,602	1,608
無形固定資産	217	211	217
投資その他の資産	7,141	9,245	7,707
<b>資産合計</b>	<b>15,162</b>	<b>17,832</b>	<b>15,179</b>
<b>■負債の部</b>			
流動負債	8,527	7,932	7,367
固定負債	2,542	2,926	3,236
<b>負債合計</b>	<b>11,069</b>	<b>10,858</b>	<b>10,604</b>
<b>■純資産の部</b>			
株主資本	4,092	6,974	4,575
資本金	1,229	1,229	1,229
資本剰余金	1,433	1,433	1,433
利益剰余金	1,430	4,312	1,913
自己株式	△1	△1	△1
<b>純資産合計</b>	<b>4,092</b>	<b>6,974</b>	<b>4,575</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>15,162</b>	<b>17,832</b>	<b>15,179</b>

四半期キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 [平成26年2月21日から 平成26年8月20日まで]	前第2四半期累計期間 [平成25年2月21日から 平成25年8月20日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	9	146
投資活動によるキャッシュ・フロー	94	△66
④ 財務活動によるキャッシュ・フロー	339	39
現金及び現金同等物の増減額	443	119
現金及び現金同等物の期首残高	309	395
現金及び現金同等物の四半期末残高	753	514

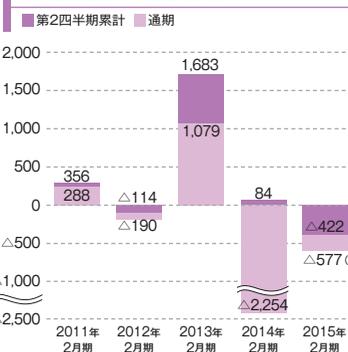
売上高 (百万円)



営業利益(損失) (百万円)



四半期(当期)純利益(損失) (百万円)



四半期損益計算書 (単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 [平成26年2月21日から 平成26年8月20日まで]	前第2四半期累計期間 [平成25年2月21日から 平成25年8月20日まで]	前事業年度 (平成26年2月21日から 平成26年2月20日まで)
売上高	16,752	19,226	36,292
売上原価	7,759	8,737	16,597
<b>売上総利益</b>	<b>8,992</b>	<b>10,488</b>	<b>19,695</b>
② 販売費及び一般管理費	9,216	10,134	20,175
<b>営業利益又は損失(△)</b>	<b>△224</b>	<b>353</b>	<b>△479</b>
営業外収益	40	42	76
営業外費用	8	22	29
<b>経常利益又は損失(△)</b>	<b>△192</b>	<b>373</b>	<b>△433</b>
特別利益	9	0	0
③ 特別損失	135	152	293
<b>税引前四半期純利益又は四半期(当期)純損失(△)</b>	<b>△318</b>	<b>220</b>	<b>△726</b>
法人税、住民税及び事業税	104	116	212
法人税等調整額	△0	18	1,316
<b>四半期純利益又は四半期(当期)純損失(△)</b>	<b>△422</b>	<b>84</b>	<b>△2,254</b>

POINT

- ① 流動資産は、62億55百万円となり、前第2四半期会計期間末に比べて5億18百万円減少しました。主な要因は、在庫圧縮に努めたことによる商品の減少3億51百万円等によるものです。
- ② 販売費及び一般管理費は、92億16百万円となり、前第2四半期累計期間に比べて9億18百万円減少しました。主な要因は、不採算店閉店による赤字額削減及び営業費の低減を進めたことによるものです。
- ③ 特別損失は、1億35百万円となり、前第2四半期累計期間に比べて17百万円減少しました。主な要因は、減損対象店舗の減少によるものです。
- ④ 財務活動によるキャッシュ・フローは、3億39百万円となりました。主な要因は、短期借入金4億円の増加と配当金支払いの59百万円によるものです。

会社概要(2014年8月20日現在)

社名 株式会社 パレモ  
 設立 1984年11月22日  
 資本金 12億2,925万円  
 本社所在地 〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地  
 事業所 パレモ東京 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町12番20号  
 パレモ大阪事務所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目7番19号  
 第7新大阪ビル 8階  
 従業員数 3,699名 (ナショナル社員228名、エリア社員他3,471名)  
 事業内容 レディースアパレル、バラエティ雑貨、バッグの専門店チェーン  
 ホームページ <http://www.palemo.co.jp/>

役員(2014年8月20日現在)

代表取締役会長 藤田 敏  
 代表取締役社長 小田 保 則  
 専務取締役 吉田 馨  
 常務取締役 永井 隆 司  
 取締役 飯田 務  
 取締役 江里口 直  
 常勤監査役 黛 龍 二  
 監査役 伊藤 章  
 監査役 中村 弘

注：監査役のうち、伊藤 章、中村 弘の両氏は社外監査役であります。

株式情報(2014年8月20日現在)

発行可能株式総数	27,360,000株
発行済株式の総数	12,051,384株
単元株式数	100株
株主数	8,136名

大株主(2014年8月20日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ユニグループ・ホールディングス株式会社	7,493	62.17
パレモ従業員持株会	250	2.08
個人株主A	178	1.48
株式会社三菱東京UFJ銀行	130	1.07
株式会社SBI証券	61	0.50
岩間商事株式会社	52	0.43
サンラリー株式会社	50	0.41
個人株主B	40	0.33
個人株主C	34	0.28
HSBC-FUND SERVICES, SPARX ASSET MANAGEMENT CO LTD	33	0.27

株主構成(2014年8月20日現在)

